

平成26年度

下水道事業会計予算の概要

1. 平成26年度予算概要

(1) 予算総額（下水道事業＋個別排水処理事業）

平成26年度の予算額は、収益的収入及び支出、資本的収入及び支出から構成される。なお、資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額が605,700千円は、当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額19,344千円、当年度損益勘定留保資金586,356千円で補てんするものとする。

平成26年度予算額	予算総額（下水道事業＋個別排水処理事業）
収益的収入（3条予算）	資本的収入（4条予算）
1,861,900千円	1,208,300千円
収益的支出（3条予算）	資本的支出（4条予算）
1,943,400千円	1,814,000千円

2. 歳入予算【主な自主財源】

(1) 下水道使用料

平成26年度新規接続戸数300戸を見込んだ下水道使用料分と既設接続地区の下水道使用料分を併せ、調定額を予算額として考え、609,757千円の収納見込とした。

平成26年度予算額	平成25年度当初予算額	対前年度比増減
609,756千円	604,933千円	4,823千円

(2) 受益者負担金

私道整備に伴う平成26年度新規賦課区域1964.56㎡を見込んだ負担金分と平成22年度から平成25年度賦課区域の負担金分を併せ、収納率を92.9%（H25予算）として27,319千円の収納見込とした。

平成26年度予算額	平成25年度当初予算額	対前年度比増減
27,319千円	45,142千円	▲17,823千円

3. 歳出予算

(1) 公共下水道事業

1) 公共下水道事業

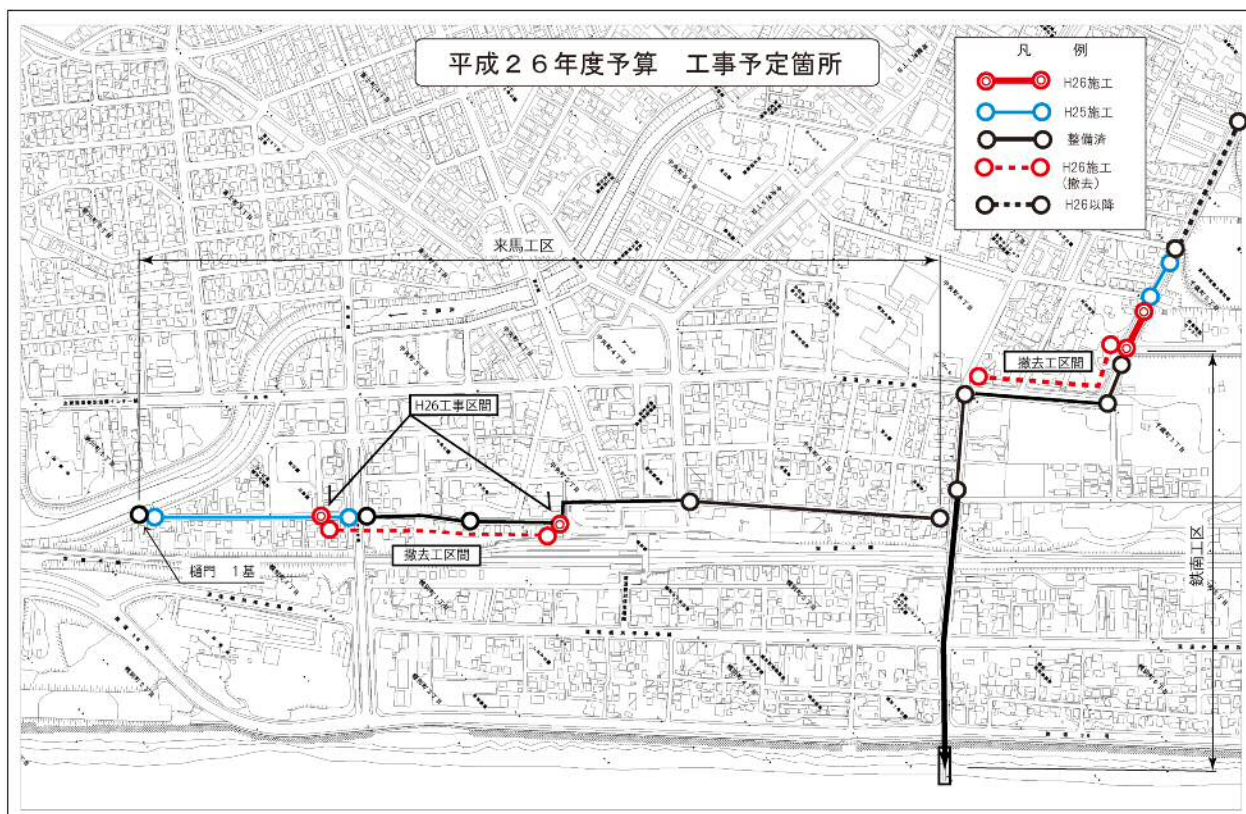
平成26年度は、老朽化した都市下水路の改築のため来馬川4号幹線雨水函渠改築更新工事と、若山町地区の浸水対策のため雨水管渠新設工事を実施する。

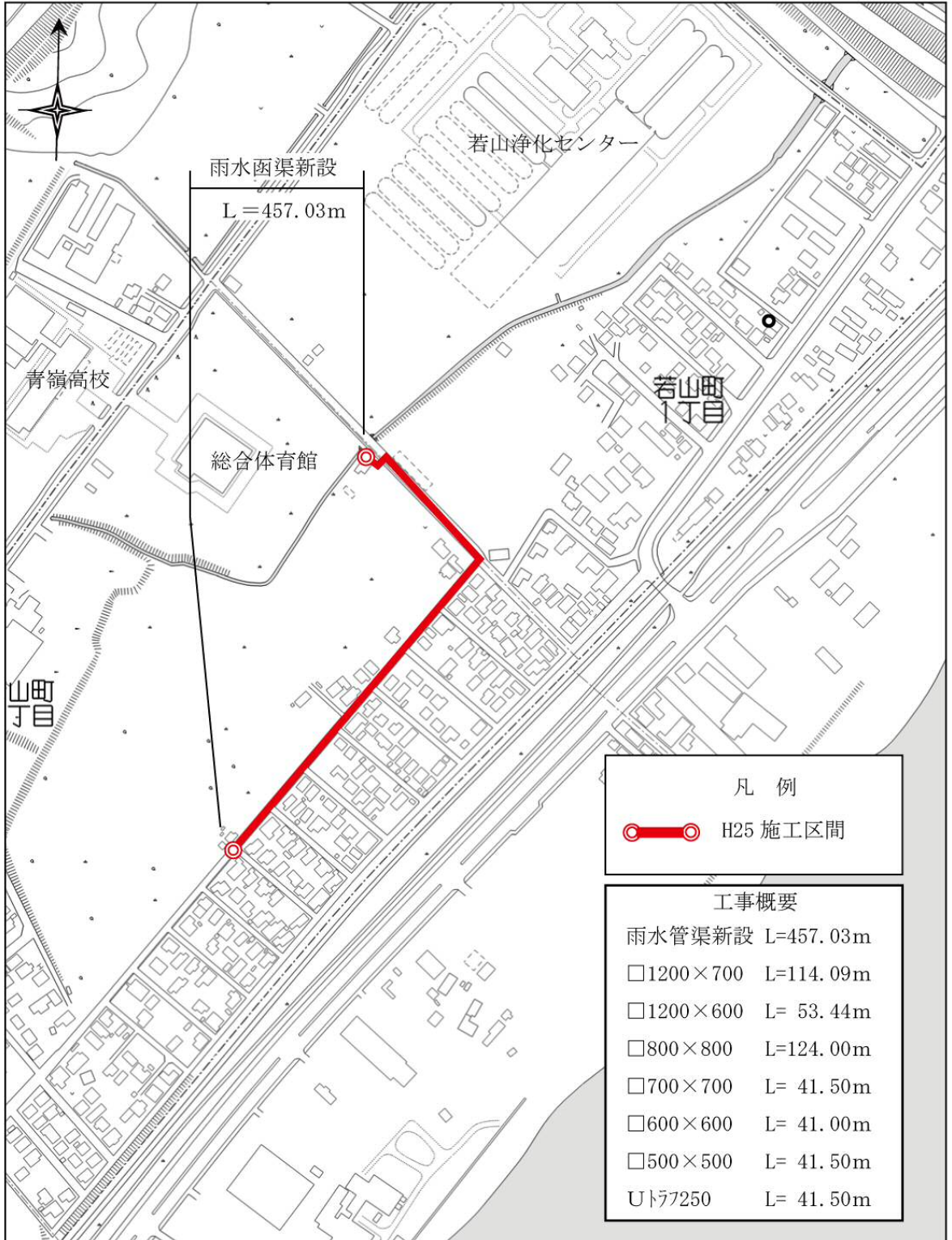
来馬川4号幹線雨水函渠改築更新工事の施工延長は11mの整備予定である。

中央通雨水管渠新設工事の施工延長は420mの整備予定である。

工事請負費については対前年比20.8%減の315,239千円を計上した。

管渠建設費（工事請負費）		
平成26年度予算額	平成25年度当初予算額	対前年度比増減
315,239千円	398,100千円	▲82,861千円





2) 処理場整備

若山浄化センターは、供用開始後24年を経過しており、主要な設備機器の著しい劣化が確認されている。このため、下水道機能の停止を未然に防止し、さらにライフサイクルコストの最小化を図る目的として策定した登別市下水道長寿命化計画に基づき、事業の実施に向けた予算を計上した。

その主な事業内容及び予算計上額は次のとおりである。

目：処理場建設費（委託料・工事請負費）		
平成26年度予算額	平成25年度予算額	対前年度比増減
・ 処理場改築更新工事委託 (No.1-2 曝気装置更新工事H25~26) ・ 処理場更新設計委託（長寿命化） ・ 処理場場内整備工事	・ 処理場改築更新工事 (No.1-2 曝気装置更新工事H25~26) ・ 処理場改築更新設計委託（長寿命化）	
232,400千円	135,200千円	97,200千円

3) 維持管理

維持管理経費については、膨大な下水道ストックが日々劣化し、事後保全対応により維持管理や改築、修繕のコストの増大を招いており、機能不全に陥るリスクもはらんできている。また、将来的な改築需要を勘案する必要が生じている。このため、ストックの予防保全的な管理を行い延命化を図れるよう配慮した。

① 処理場費

若山浄化センター等の維持管理経費については、電力量料金単価の値上げに加え、その他の燃料調整費等も増加しており、さらに、消費税率の増加によって前年度比11.8%の増額を計上した。

処理場費		
平成26年度予算額	平成25年度予算額	対前年度比増減
280,652千円	251,033千円	29,619千円

②管渠費

マンホールポンプ場等の維持管理を含めた管渠費については、市民生活に支障が生じないように施設機能の維持及び使用年数の延伸に配慮した経費を精査した結果、需要費及び委託料（修繕及び清掃調査費等）は、対前年度より増額し40,000千円を計上した。また、工事請負費は、継続事業として行ってきた道道中央通りの道路改良工事に伴う污水管渠の整備が終了したため、対前年度より減額し13,343千円を計上した。このため、管渠費は、対前年度比52.7%減の53,643千円を予算計上した。

管渠費		
平成26年度予算額	平成25年度予算額	対前年度比増減
53,643千円	113,526千円	▲59,883千円

これにより、収益的収入及び支出（第3条）のうち、維持管理に要する全体経費については、対前年比約8.3%減（▲30,264千円）をした予算を計上した。

（2）個別排水処理施設整備事業

- ・設置数……5人槽又は7人槽 10基 12,960千円

個別排水処理整備費（工事請負費）		
平成26年度予算額	平成25年度当初予算	対前年度比増減
12,960千円	12,600千円	360千円

（3）公債費

公債費については、対前年比2.1%増の1,525,765千円となっている。事業別では下水道事業公債費が対前年比2.1%増となる1,522,509千円を計上、個別排水処理事業公債費は対前年比6.1%増となる3,256千円を予算計上した。

平成26年度予算額	平成25年度当初予算	対前年度比増減
1,525,765千円	1,492,338千円	33,427千円